

国道 192 号 <sup>やまぐちだに</sup> 山口谷橋 の補修工事に着手  
～架設後 38 年、更なる長寿命化を目指して～

【ポイント】

■国道 192 号徳島県三好郡東 <sup>みよしぐんひがし</sup> みよし町の山口谷橋 <sup>やまぐちだに</sup> において、平成 22 年 10 月から平成 23 年 2 月までの期間、橋梁補修工事を実施します。

■工事は、一時歩道の通行止めを行い実施するため、通行者や近隣の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご協力のほど宜しくお願い致します。

■今後も、計画的に補修工事を実施し、長寿命化を図ることでライフサイクルコストの縮減を図ります。

【山口谷橋の主な損傷】

- ・主桁（鋼製）の腐食
- ・コンクリートの剥離、ひび割れ

今後とも、地域の皆様の声を聞きながら、より良い道路管理を行っていきたいと考えていますので、ご意見・ご要望を以下のアドレスまでお寄せ下さい。

<http://www.skr.mlit.go.jp/cgi-bin/tokushima/form.cgi?formid=form001>

平成 22 年 10 月 22 日(金)

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画「No.5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取り組みに関連します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

◎道路管理第二課長 <sup>うえた きよし</sup> 植田 清 内線441

TEL：088-654-2211(代表)

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 池田国道維持出張所

出張所長 <sup>あべ あつし</sup> 阿部 篤

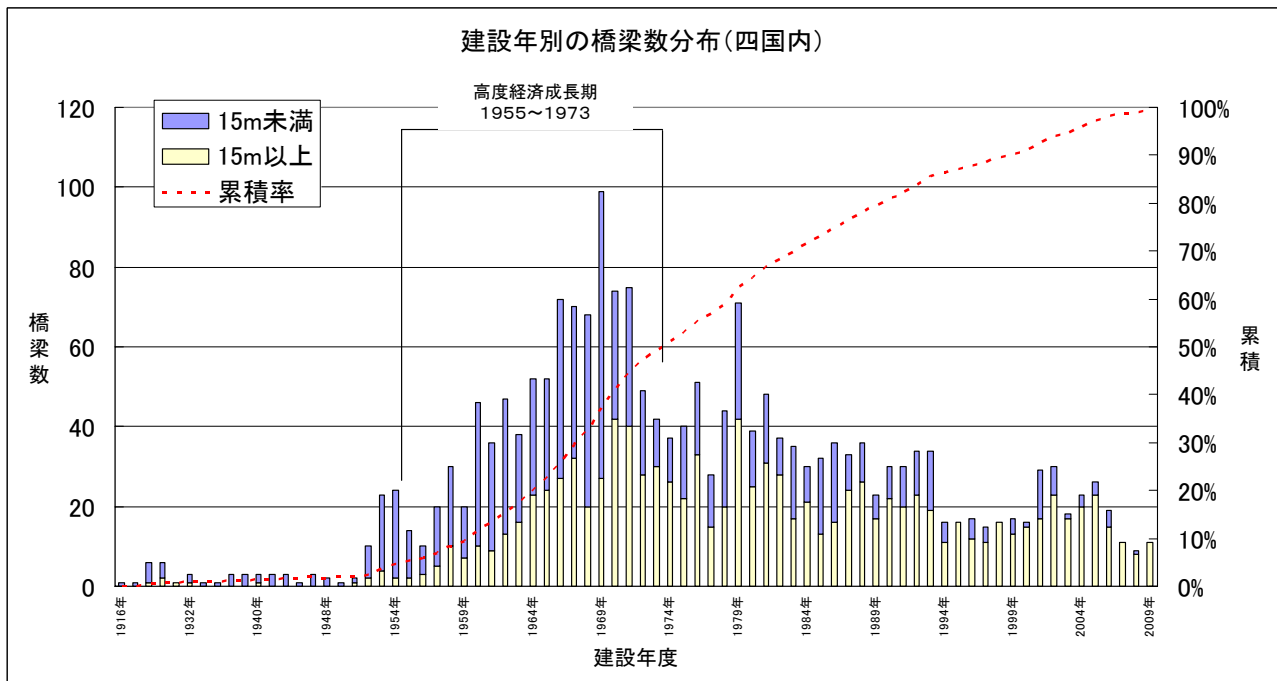
TEL：0883-72-2177

◎：主たる問い合わせ先

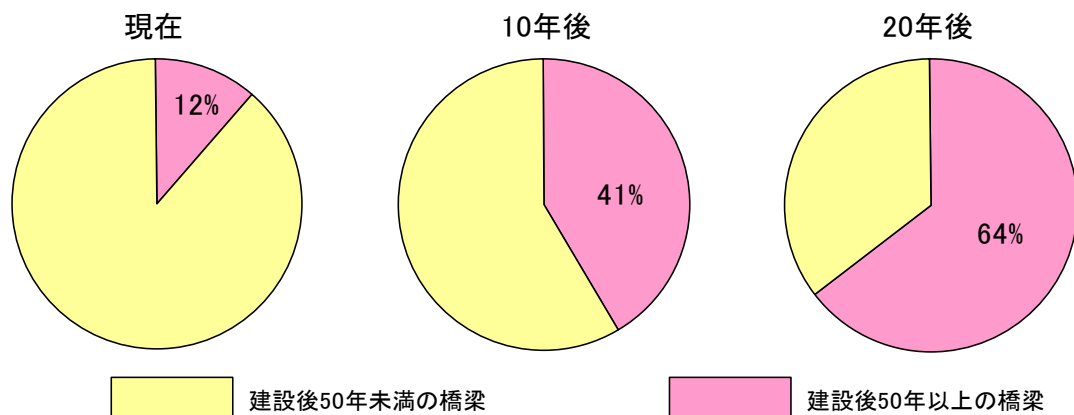
## ■四国管内 直轄国道における橋梁の現状

これまで橋梁を含む社会資本は戦後の高度経済成長とともに着実に整備されてきました。しかし、これらの社会資本の高齢化が進行し、適切な維持管理を行わなければ安全性が損なわれる恐れがあります。

四国地方整備局が管理する道路橋は現在 2,056 箇所ありますが、1955 年度から 1973 年度にかけての高度成長期に全体の約 44%にあたる 914 箇所が建設されています。今後これらの高齢化が一斉に進むことから、安全性・信頼性を確保していくために、集中的に多額の修繕・架替え費用が必要となることが懸念されます。

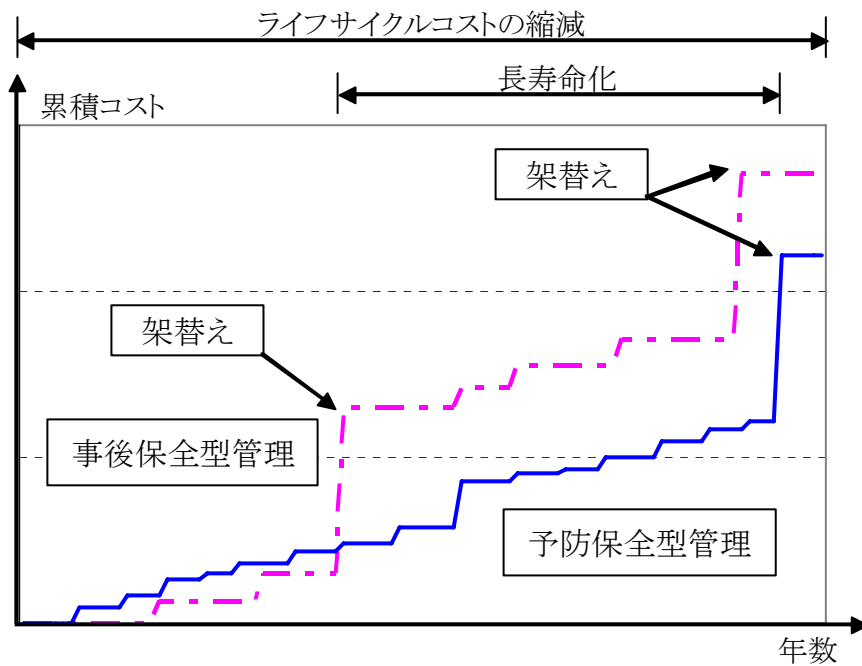


また、四国管内における建設後 50 年以上経過した橋梁数の全管理橋梁箇所数に占める割合は、現在の 12%から 10 年後には約 3 倍の 41%となり、さらに 20 年後は約 5 倍にあたる 64%まで急激に増加します。



## ■橋梁の長寿命化による効果

損傷が軽微な段階で適切な補修を行うことで橋梁の長寿命化が図られ、ライフサイクルコストの縮減に繋がる予防保全型管理を目指しています。



予防保全型管理の効果（イメージ）

## ■橋梁の定期点検

四国管内の直轄国道における橋梁は、5年に1回の定期点検により、損傷状況を把握しています。



橋梁点検車による定期点検



船による定期点検



目視によるひび割れ点検

## ■山口谷橋の損傷状況

国道192号山口谷橋では、橋梁点検の結果コンクリート（上部・下部）の剥離・ひび割れ、主桁の腐食等の損傷があることが分かりました。今回の工事にて、断面補修・ひび割れ注入及び補強板取り付け等を行うことで劣化の進行を止め、橋梁の長寿命化を図ります。



剥離・鉄筋露出



断面補修の例



ひび割れ



ひび割れ注入の例



腐食



補強板取付の例

## ■山口谷橋の位置・写真など



## ■山口谷橋補修工事のスケジュール

		10月	11月	12月	1月	2月
橋梁床版工	床版補強・補修工		■	■	■	
鋼桁工	鋼桁補修工				■	
橋梁補修工	ひび割れ注入・表面被覆工		■	■		
橋梁付属物工	伸縮装置取替			※	※	
橋梁付属物工	排水施設補修工				■	
舗装工	歩道舗装工			■	※	
仮設工	足場工	■	■		■	■
準備・後片付け		■				■

※ 歩道部通行規制予定

### 歩道部通行規制

- ・ 昼間について  
 上り線部（三好行き）、下り線部（徳島行き）を片側ずつ施工し、施工中はどちらかの歩道を確保します。
- ・ 夜間について  
 仮復旧等により歩道の規制を解除します。